文教委員会 所管事項

【教育指導部】

1 確かな学力の定着について

- (1) 児童・生徒が確かな学力を身につけることができるよう「学校の施策実行力」、「教員の授業力」、「児童・生徒の個に応じた学習」、「英語教育」の4つの視点で、重層的に施策を実施していく。
- (2) 特に「教員の授業力」については、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業を展開することで、学習者中心の学びを推進していく。クラウドを活用した授業や学校図書館活用した授業を通じ、言語能力や情報活用能力など「学習の基盤となる資質・能力」の育成に繋げていく。

2 心身の健全な発達について

児童・生徒一人ひとりが多様性を理解し、相互に尊重しあえる心を育むとともに、将来子ども達が心身ともに健やかに大人への入り口に立てるよう、特別の教科道徳やいじめ防止の取組に加え、学校の教育活動全体を通して人権意識向上に向けた教育を進める。また、身体的面では、怪我の防止に配慮しつつ、各校の課題や実情に合わせた運動・体育の取組を総合的に行い、運動習慣の確立に繋げ体力の向上を図る。

3 特別な支援を要する子どもへの支援について

- (1) 発達特性に応じた子どもへの支援の充実に向けて、地域偏在が解消できるよう特別支援学級の新設・増設を図るとともに、情緒固定級新設の検討を開始する等、だれもが平等に学び成長できる環境の整備を進めていく。
- (2) 不登校支援については、チャレンジ学級・あすテップ等でICTを活用した学習支援を進めるとともに、不登校に関するアンケート調査から実態と要因を分析し施策に反映させていく。あわせて、不登校になる手前の生徒を対象としたSSR（スモール・ステップ・ルーム）の開設校を拡充し、不登校の未然防止策を講じていく。

4 その他

教育指導部については、令和7年度所管事務概要135ページから142ページに記載

【学校運営部】

1 安全・快適に学べる教育施設の整備

小・中学校の施設更新、維持管理を適切に実施するとともに、適正規模・適正配置を推進することにより、児童・生徒が安全で快適に学べる教育施設を整備する。

2 児童・生徒の心身の健全な発達の支援

「おいしい給食・食育」を推進することにより、積極的な野菜摂取に関する啓発を図り、子どもたち自身の健康増進意欲を培う。

また、貧血・小児生活習慣病予防、むし歯予防等学校保健指導に関連する施策を通じて、子どもたちの健やかな成長を支える。

3 安全・安心な居場所づくりの支援

放課後子ども教室の推進や大学連携事業を通じて子どもたちの安全・安心な居場所を提供するとともに、様々な体験活動や交流活動を通して、新しいことにチャレンジする意識の醸成を図る。

4 家庭の経済的負担の軽減と学びの環境支援の充実

入学準備金の支給、補助教材費等の補助事業、給付型奨学金をはじめとする育英資金事業、小・中学校の給食費無償化実施等により、子育て世帯への経済的負担の軽減及び学びの環境支援の充実を図る。

5 その他

学校運営部については、令和7年度所管事務概要143ページから150ページに記載

【子ども家庭部】

1 全ての家庭が子育てしやすい環境づくりへの取組

(1) 生後5か月から1歳4か月の全世帯を対象とした「子育て家庭訪問事業」や乳幼児を対象とした「夏の遊び場の確保」などの新規事業のほか、子育て施策の各種展開により、全ての子育て家庭の安心を支えていく。

(2) 令和7年10月設置予定の「こども家庭センター」を軸に、妊産婦も含めた母子保健・児童福祉の両機能が連携した相談体制により、支援強化を図る。

2 保護者が安心して子どもを預けることができる環境の整備

(1) 就学前教育・保育施設において、研修や指導検査等を通じた幼児教育・保育の質を図り、安全・安心への取組の徹底を図る。

(2) 学童保育室の待機児童の解消を目指すとともに、保育の質の維持向上を図り、

子どもや保護者にとって安全・安心な放課後の居場所を確保していく。

3 その他

子ども家庭部については、令和7年度所管事務概要151ページから162ページに記載